

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

国 語

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【領域】

・「言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率

○全国平均を上回っている。

・「話すこと・聞くこと」の平均正答率

○全国平均を上回っている。

・「書くこと」の平均正答率

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

・「読むこと」の平均正答率

○全国平均を上回っている。



・文脈に即して漢字を正しく使うこと。

・資料や機器を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫すること。

・目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。

・読み手の立場に立って、語句の用法や叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。

・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること。

・漢字の意味の違いを確認したり、必要に応じて辞書を引いたりする活動の充実。

・自分の考えがわかりやすく伝わっているかを確認し、資料や機器の使い方について検討する活動の充実。

・相手や目的などを具体的に考え、必要な情報を取捨選択する活動の充実。

・書いた文章を読み返し、観点を明確にして文章を整える活動の充実。

・文章全体や部分における構成や展開を把握したうえで、構成や展開、効果について自分なりの意味付けをする活動の充実。

《表現の意味》 全国平均正答率と比較して

○上回っている・・・+3.1ポイント以上

◇ほぼ同程度であるが、やや上回っている・・・+3ポイントの範囲内で全国平均以上

□ほぼ同程度・・・全国平均と同じ

◆ほぼ同程度であるが、やや下回っている・・・-3ポイントの範囲内で全国平均以上

●下回っている・・・全国平均正答率と比較して-3.1ポイント以下

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【領域】

・「数と式」

○全国平均を上回っている。

・「図形」

○全国平均を上回っている。

・「関数」

○全国平均を上回っている。



・「データの活用」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

・様々な数について成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明すること。

・図形の性質を用いて、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明すること。

・グラフや表から必要な情報を読み取り、問題解決の方法を数学的に説明すること。

・不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。

・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する活動の充実。

・三角形や四角形について成り立つ性質を用いて、成り立つ事柄を自ら見だし、筋道立てて説明する活動の充実。

・日常生活に即した事象に関するグラフや表を読み取り、成り立つ事柄を推測し説明する活動の充実。

・日常生活や社会の事象を考察し、ある事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する活動の充実。

《表現の意味》 全国平均正答率と比較して

○上回っている・・・+3.1ポイント以上

◇ほぼ同程度であるが、やや上回っている・・・+3ポイントの範囲内で全国平均以上

□ほぼ同程度・・・全国平均と同じ

◆ほぼ同程度であるが、やや下回っている・・・-3ポイントの範囲内で全国平均以上

●下回っている・・・全国平均正答率と比較して-3.1ポイント以下

課題

改善の方向

「エネルギー」を柱とする領域

- ◆身近な電化製品の電気回路について探究する学習場面において、回路に抵抗がついている理由を問うことで、抵抗に関する知識が概念として身に付いているかどうかをみること。【予測正答率による分析】

「粒子」を柱とする領域

- 塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみること。

「生命」を柱とする領域

- 水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いているかどうかをみること。

「地球」を柱とする領域

- ◆露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できるかどうかをみること。

※予測正答率による分析とは、本校では出題されなかった問題ですが、正答率が低く見積もられた問題です。

- 「電流の性質」で学習する回路のしくみが、身のまわりの電化製品の回路と関連していることを、実例の中で体感する学習活動の充実。

- 「物質の表し方」で取り扱う元素記号および化学式を単体と化学式の組成に注目して表す学習活動の充実。

- 「動物の特徴と分類」で学習する動物の分類が、呼吸のしかたによるところの他、体のつくりによることを分析して解釈する学習活動の充実。

- 「語る大地」で学習する地層のでき方と広がりについて、堆積物の粒の大きさに注目して、分析して解釈する学習活動の充実。



《表現の意味》 全国平均正答率と比較して

○上回っている・・・+3.1 ポイント以上

◇ほぼ同程度であるが、やや上回っている・・・+3 ポイントの範囲内で全国平均以上

□ほぼ同程度・・・全国平均と同じ

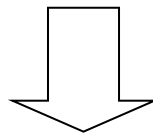
◆ほぼ同程度であるが、やや下回っている・・・-3 ポイントの範囲内で全国平均以上

●下回っている・・・全国平均正答率と比較して-3.1 ポイント以下

質問紙調査結果から



- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合は全国平均、全道平均に比べて共に上回っている。
- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合は全国平均、全道平均に比べて共に上回っている。
- 「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合は全国平均、全道平均に比べて共に下回っている。
- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合は全国平均、全道平均に比べて共に下回っている。
- 「自分には、よりところがあると思いますか」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合は全国平均、全道平均に比べて共に下回っている。



課題と改善の方向

全国学力・学習状況調査の平均正答数の結果は、国語科は道内平均、全国平均を「上回っている」、数学科は道内平均、全国平均を「上回っている」、理科は道内平均、全国平均ともに「ほぼ同程度であるが、やや上回っている」という結果でした。今後、更なる向上に向けて各教科で指導方法や評価評定方法の改善に向けて取り組みたいと考えています。

また、他の教科も含めて、基礎学力の向上や発展的内容への取組、主体的な学習への取組等を重視していきたいと考えています。

質問調査用紙の結果からは、今年度の3学年は「将来の夢や目標を持っている」、「自分には、よいところがある」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」等の項目で全国平均を下回っており、将来に向けての不安感や、進路、自身のあり方を模索している様子が伺えます。

一方で、「学校に行くのは楽しい」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」の項目が全国平均を上回っており、他者との差異を認め合いながら、学校生活を過ごしていることが読み取れます。生徒たちの学校生活での前向きな気持ちを大切にしながら、生徒がより高い目標を目指していけるように育成していきたいと考えています。

また、学習でのタブレット使用に関する項目については、全国・全道平均より下回る項目が多く見られます。授業内での適切な利用促進に努めるとともに、生徒たちのネットリテラシーの育成にも取り組んでいきたいと思っています。今後とも本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。